

自然の営みを重視した 球磨川の治水を考える集い

ごあいさつ

川辺川ダムについて、徳田正臣・相良村長、田中信孝・人吉市長、蒲島郁夫・熊本県知事が相次いでダム反対を表明しました。

国土交通省が川辺川ダム建設の根拠としている基本高水は、実際の洪水時の雨量と流量の実績と大きく食い違っています。

また、これまで国土交通省が説明してきた川辺川ダム代替案は、過大な基本高水をもとにしたものであり、川辺川ダム計画を正当化するためのものです。しかも国土交通省の川辺川ダム代替案は、過大な流量を単独案で解消しようとするものであり、国の進める総合的な治水の考え方からも大きく逸脱したものです。

これまで川辺川ダム計画があったがために、流域の河川改修は大幅に遅れました。今後、国土交通省は住民の望む治水対策の検討を行うべきです。

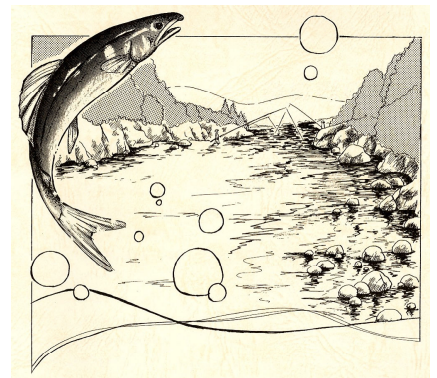
そこで、京都大学名誉教授の今本博健さんに再度、球磨川流域を現地調査していただき、住民が考える球磨川流域の治水案について検証する集いを企画しました。皆様方のご参加をお待ちしています。

●とき 2008年 **11月16日(日)**
午後2時開会

●ところ **人吉旅館(人吉市上青井町)**

電話 0966(22)3141

●講師 **今本 博健氏(京都大学名誉教授)**



■講師プロフィール：いまもと ひろたけ 京都大防災研究所所長などを経て、2001年に定年退官。国土交通省近畿地方整備局「淀川水系流域委員会」の元委員長。同委は「ダムを原則として建設しない」と提言し注目を集める。専門は実験水理学、河川工学、防災工学。京都市在住。

◇入場無料

主催 清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 会長 緒方俊一郎

人吉市九日町36-3F くま川ハウス ■問合せ 0966(22)4004 木本